

### 過労死防止と労働人権法

寺内宏伸 労働法論文翻訳者、元労働基準監督官

強制労働と国際的非難を受け、外国人技能実習制度が廃止される。労働基準法にも労働人権法(強制労働の禁止)を明記しているが、2022年日本でも1957年ILO第105号「強制労働の廃止に関する条約」を批准した。このように労働人権法が注目される中、人権保障の観点から、未批准の①ILO暴力とハラスメント禁止条約②労働時間条約③週休制条約等の批准をも検討する必要がある。標題について、日米労働法制史を比較し、労働人権法の観点から日本の労働法制史に焦点を当てその問題点を検討する。併せて、労働人権法の観点から労働基準法第69条の趣旨を踏まえ2024年「医師の働き方改革」及び医療法改正を批判する。

[2024-07-12 版]